



2015年02月25日  
(平和アピール記念日)

広島教区内信者の皆様へ

カトリック広島司教区  
平和の使徒推進本部  
本部長 肥塚 倅司 神父

教区「平和年」連動企画

## 戦争と平和モニュメント写真と訪問記の募集について

---

† 主の平和

四旬節をいかがお過ごしでしょうか？

広島教区では、2014年8月6日から2015年8月6日までを教区「平和年」として特別年を定めました。「平和年」の取組が3つ挙げられていますが、その一つに「教区内にある『戦争と平和』に関する記念碑等モニュメントを調査や訪問等する」があります。

この活動は、基本的には小教区（各教会）で、小教区内または近くにある記念碑等モニュメントを調査や訪問することを念頭に置いていましたが、個人的に活動する方もおられると考え、写真と訪問記を募集することを企画しました。

募集するものですが、広島教区内にある戦争（明治以降）や平和に関するモニュメントを撮影した写真とそのモニュメントへの訪問記（碑の説明や調査文を含む）です。詳しい募集要項は別紙を参照ください。

なお、応募された写真と訪問記は、教区創立100周年事業の一環として「記念碑探訪記」など編集発行を検討していく予定です。

ご興味のある方はぜひ応募ください！

過去を振り返ることは将来に対する責任をになうことです。広島市の皆様は、最初の原子爆弾投下の記念碑を、賢明にも平和の記念碑とされました。私は、この英断に敬意を表し、その考えに賛同します。平和記念碑を作ることにより、広島市と日本国民は、「自分たちは平和な世界を希求し、人間は戦争もできるが、平和を打ち立てることもできるのだ」という信念を力強く表明しました。この広島から、この広島での出来事の中から、「戦争に反対する新たな世界的な意識」が生まれました。そして平和への努力へ向けて新たな決意がなされました。（抜粋：聖ヨハネ・パウロ二世教皇「平和アピール」）